

# 公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和6年2月1日（木）に開催された。

## 1 決裁事項

- ・ 刑事訴訟法第189条第1項および第199条第2項の規定に基づく司法警察員等の指定に関する規則の一部改正について
- ・ 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等について

## 2 審議事項

警察職員の特別派遣について（交通部）

石川県公安委員会から警察職員の援助要求があった。  
審議した結果、原案のとおり特別派遣することを了承した。

委員から、「体調に留意し、任務を全うしていただきたい。」との発言があった。

## 3 報告事項

### (1) 警察職員の職務執行に対する感謝事例等について

県警察から、警察職員の職務執行に対する感謝事例等に関する報告があった。  
令和5年10月から12月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が6件あり、その内訳は「生活安全警察活動」1件、「刑事警察活動」2件、「交通警察活動」3件であるとのことであった。

委員から、「日頃の丁寧・迅速な取組の結果だと思われる。引き続き県民に寄り添った対応に心掛けていただきたい。」との発言があった。

### (2) 令和6年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案について

県警察から、令和6年秋田県議会第1回定例会（2月議会）提出の議案に関する報告があった。

令和6年秋田県議会第1回定例会に提出予定の議案は、令和5年度2月補正予算案及び令和6年度当初予算案であるとのことであった。

委員から、「限られた予算であり、適正有効に使っていただきたい。」との発言があった。

(3) 令和5年中の特殊詐欺の認知・検挙状況（暫定値）、抑止対策について

県警察から、令和5年中の特殊詐欺の認知・検挙状況（暫定値）、抑止対策に関する報告があった。

令和5年中の特殊詐欺認知件数は88件、被害総額は約5億400万円と、前年より件数は22件、被害額は約4億円の増加となり、年間の過去最高被害額を更新した。

認知事件の特徴として、令和4年中認知のなかった金融商品詐欺を11件認知し、令和5年中の被害額の約77%を占めている。

抑止対策として、発生実態に応じた手口対策、高齢者世帯等に重点指向した巡回連絡、あらゆる媒体を活用した効果的な広報啓発活動、緊急対策プランに基づく「実行犯を生まない」ための対策と「被害に遭わない環境を構築する」ための対策等を推進していくとのことであった。

委員から、「被害の根絶は難しいと思われるが、地道な取組を願う。」との発言があった。

(4) 大館能代空港不法侵入事案対応訓練の実施結果について

県警察から、大館能代空港不法侵入事案対応訓練の実施結果に関する報告があった。

1月23日、大館能代空港ターミナルビルにおいて、不法侵入事案対応訓練を実施したとのことであった。

委員から、「継続的に訓練を実施していただきたい。」との発言があった。